

## 川崎縦貫道路等の早期整備に係る要望書を提出致しました

8月2日に、川崎商工会議所、川崎市の幹線道路の整備を促進する会及び川崎市の3者連名にて「川崎縦貫道路等の早期整備」に関して別添のとおり共同で国土交通省並びに神奈川県選出の国会議員の方々に要望を致しましたのでご報告致します。

1 日 時 平成29年8月2日（水）9時30分

2 場 所 国土交通省及び議員会館

3 要 望 先 国土交通大臣及び神奈川県選出国会議員 他

4 要 望 者 川崎商工会議所 会 頭 山田 長満  
川崎市の幹線道路の整備を促進する会 会 長 山田 長満  
川崎市 市 長 福田 紀彦  
(代理 副市長 三浦 淳 )

5 要望内容 ※詳細は別添の「要望書のとおり」

(1) 川崎縦貫道路Ⅱ期計画の早期計画具体化

(2) 国道409号の先行整備及び国道15号～国道1号のバイパス化などの整備の早期実施

これに伴い、同日に川崎商工会議所と川崎市幹線道路の整備を促進する会の2者連名において、首都高速道路株式会社 代表取締役社長 宮田 年耕氏に要望書を提出しております。

<問合せ先>

地域産業部 事業課 遠藤・吉田

電話：044-211-4113



田中 和徳 衆議院議員



笠 浩史 衆議院議員



島村 大 参議院議員



東 潔 国土交通大臣官房審議官



首都高速道路(株) 宮田 年耕 代表取締役社長

平成29年8月2日

国土交通大臣  
石井 啓一 殿

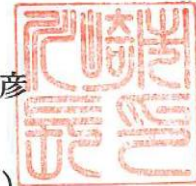
川崎商工会議所  
会 頭 山 田 長 満



川崎市の幹線道路の整備を促進する会  
会 長 山 田 長 満



川崎市長 福 田 紀 彦



### 川崎縦貫道路等の早期整備について（要望）

川崎市は首都圏における立地優位性から「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区」として羽田空港の対岸に位置するキングスカイフロントでは、ライフサイエンス・環境分野における国際戦略拠点の形成が進んでおり、併せて、川崎市と大田区を含めた東京圏が「国家戦略特別区域」に指定されていることから、国際的ビジネス拠点の実現等に向けて、広域的な幹線道路ネットワークを始めとした交通機能の強化は喫緊の課題となっております。

一方、本市の重厚長大産業や工場跡地は恵まれた立地環境に支えられ、構造変革も進み、縦に長い市域の南部、中央部には新たなマンション群が誕生し、本年4月には人口が150万人を超えるまでになり、新たな都市活力を形成しています。

このような中、特区効果をはじめ、産業変革がもたらす効果を縦方向に細長い本市において高め、さらに首都圏へ波及するためには、市域を縦貫方向に貫く川崎縦貫道路や現在、工事が鋭意進められている東京外かく環状道路など、広域的な幹線道路ネットワークの形成が必要不可欠であります。併せて、東京オリンピック・パラリンピックに向けた交通機能の強化やミッシングリンクの解消に伴う災害時の交通機能確保、環境改善、産業誘発の強化などに大きな効果があるものと思料いたします。

つきましては、本市の立地優位性を活かし、整備効果を首都圏へ波及させ、豊かな国づくりの礎を築き、益々熾烈となる国際間競争を支援し、整備効果の最大化を図る次の2点の幹線道路整備へご高配賜りたくお願い申し上げます。

1. 川崎縦貫道路Ⅱ期計画について、東京外かく環状道路（東名高速～湾岸道路間）との一本化を含めた幅広い検討を進め、ルートや整備手法など、早期に計画の具体化を図ること。
2. 川崎縦貫道路Ⅰ期事業の街路計画を基本に、国道409号の一般部の先行整備や川崎駅周辺の交通円滑化のための国道15号～国道1号間のバイパス化など経済効果の大きな整備について、早期実施を図ること。

以上